

「非正規雇用市場における採用・求職動向レポート(23年1-2月)」を公表 アルバイトにおける企業の採用活動実施率・個人の求職活動率はともに前年同時期比で増加 求職活動を実施する理由は、「生活費のため」が前年比で大きく増加

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：土屋芳明）は、全国の企業、個人それぞれを対象に実施した、非正規雇用市場における採用・求職動向レポート（23年1-2月）の結果を発表しました。

《TOPICS》

- ◆ アルバイトにおける企業の採用活動実施率・個人の求職活動率はともに前年同時期比で増加。求職活動の理由は、「生活費のため」が前年に比べ大きく増加【図1、2】
- ◆ コロナ5類移行後に就業・求職意欲が増えると回答した人は26.8%。非正規社員の増加予定数が最も多い業種は「飲食・宿泊」で約5割強【図3、4、5、6】
- ◆ 求職者が「現在は希望していないが、コロナ5類移行後は希望する」職種は、「警備・清掃・ビル管理」、「軽作業」、「イベント・キャンペーン」[教育]の順で多く、コロナ禍により求職意欲が減少していた職種が上位に【図7】

【調査概要】

企業のアルバイト採用活動実施率は78.6%（22年1-2月比：1.3pt増）、また個人のアルバイト求職活動率は86.6%（22年1-2月比：0.5pt増）となり、ともに前年同時期比で増加した。【図1】

個人がアルバイトの求職活動をする理由は、「貯金をするため」が46.0%（22年1-2月比：+2.4pt）で最も多く、次いで「自分の生活費のため」が43.5%（22年1-2月比：+5.9pt）、「家族の生活費のため」が28.1%（22年1-2月比：+8.4pt）となり、生活費に関する回答が前年同時期比で大きく増加した。物価高の影響を受けて、生活費を補填する目的でアルバイトを探す人が増加したとみられる。【図2】

新型コロナウイルスの感染法上の分類が「5類」に移行した*後（2023年5月8日以降）、現在と比較して就業・求職意欲が増えると回答した割合は26.8%となった。その理由を聞いたところ、「活動制限も緩和され、より幅広い働き方ができると思ったから」や「感染しても長い間休まなくてよいから」「コロナの不安が減りオフィスワーク以外にも関心が出てくる可能性がある」などが挙げられた。【図3、4】

規制緩和により、幅広い働き方やコロナ禍で消極的になっていた職種への関心が高まり、働き手の動きが活発化することが考えられる。

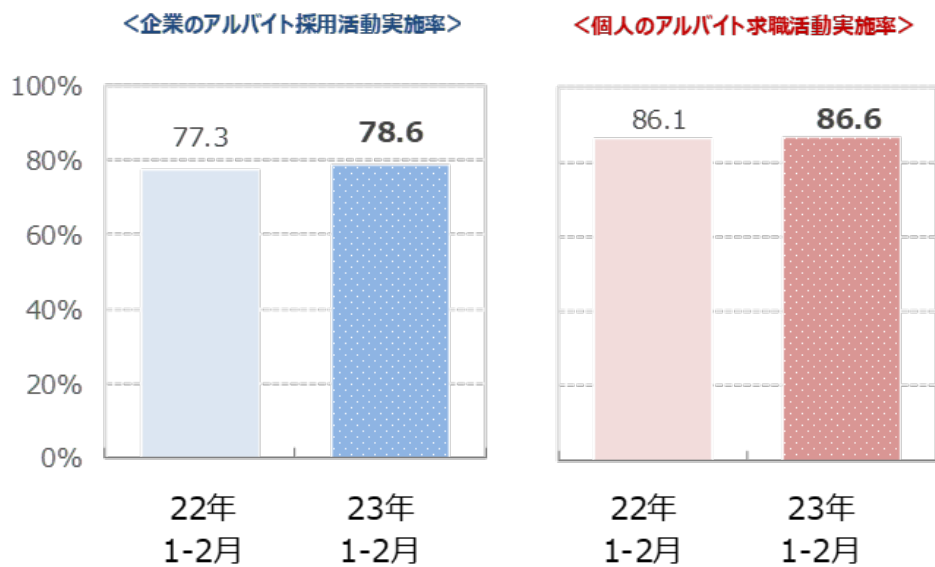
コロナ5類移行後に非正規社員数を増やす予定の企業は31.0%で、業種別では「飲食・宿泊」が最も多く54.7%となった。また、飲食・宿泊業では、コロナ前（2020年1月以前）より非正規社員の時給を上げた企業が46.5%と小売業（50.9%）に次いで高く、コロナ5類移行後に時給を上げる予定の企業も28.8%と業種別で最多となった。給与改定に取り組む企業の様子がうかがえ、人手確保の競争はさらに加速しそうだ。【図5、6】

※2023年5月8日～新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられる。

コロナ前（2020年1月以前）にも仕事・仕事探しをしていた人に、現在とコロナ前の希望職種に変化があったかを聞いたところ、「コロナ前は希望していたが、現在は希望していない」職種は[医療・介護・福祉]が最も多く21.4%、次いで[教育][警備・清掃・ビル管理]が21.3%となり、その他[イベント・キャンペーン][飲食・フード][軽作業]も2割を超えた。

一方で、現在とコロナ5類移行後（2023年5月8日以降）で、希望職種に変化があるかを聞いたところ、「現在は希望していないが、コロナ5類移行後は希望する」職種は、[警備・清掃・ビル管理]が最も多く14.4%、次いで[軽作業]が14.3%、[イベント・キャンペーン][教育]で13.7%となり、コロナ禍によって求職意欲が減少していた職種が上位となった。規制緩和により、コロナ禍では避けられていた対面業務が多い職種においても、求職意欲が回復していくことが予想される。【図7】

【図1】＜アルバイト＞採用活動実施率／求職活動実施率

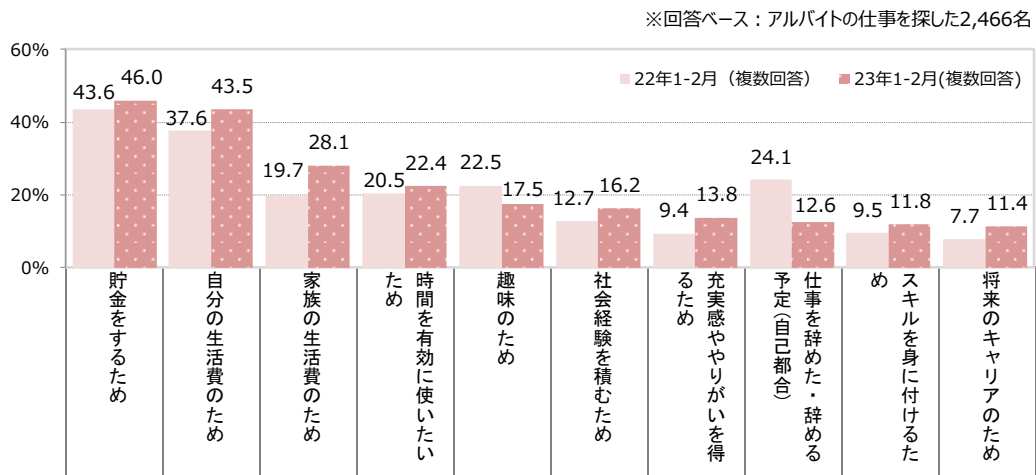


※回答ベース：非正規雇用の採用活動を行った838名

※回答ベース：非正規雇用の仕事を探した2,846名

※回答人数は最新の調査のものを記載

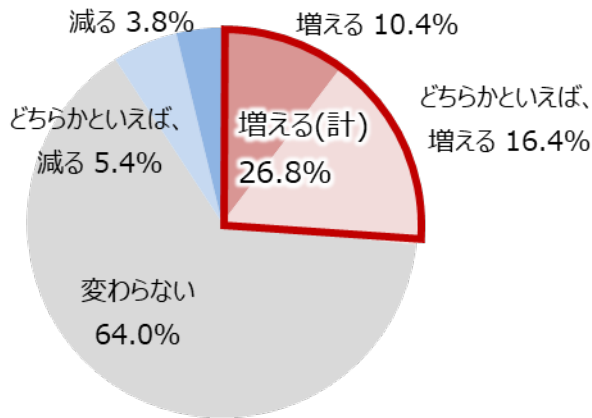
【図2】＜アルバイト＞個人が求職活動を実施した理由 ※上位抜粋



◆当該調査と22年1-2月との差分

| | | | | | | | | | | |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|-----------|
| 22年1-2月比 | +2.4 | +5.9 | +8.4 | +1.9 | -5.0 | +3.5 | +4.4 | -11.5 | +2.3 | +3.7 (pt) |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|-----------|

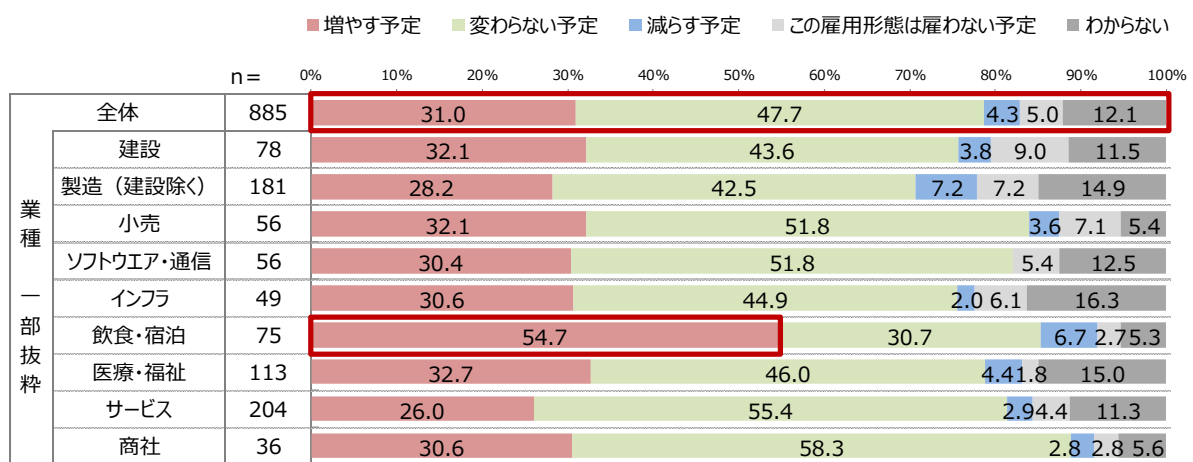
【図3】 <非正規雇用全体> コロナ5類移行後の就業・求職意欲の増減（単一回答） ※回答数：1,638



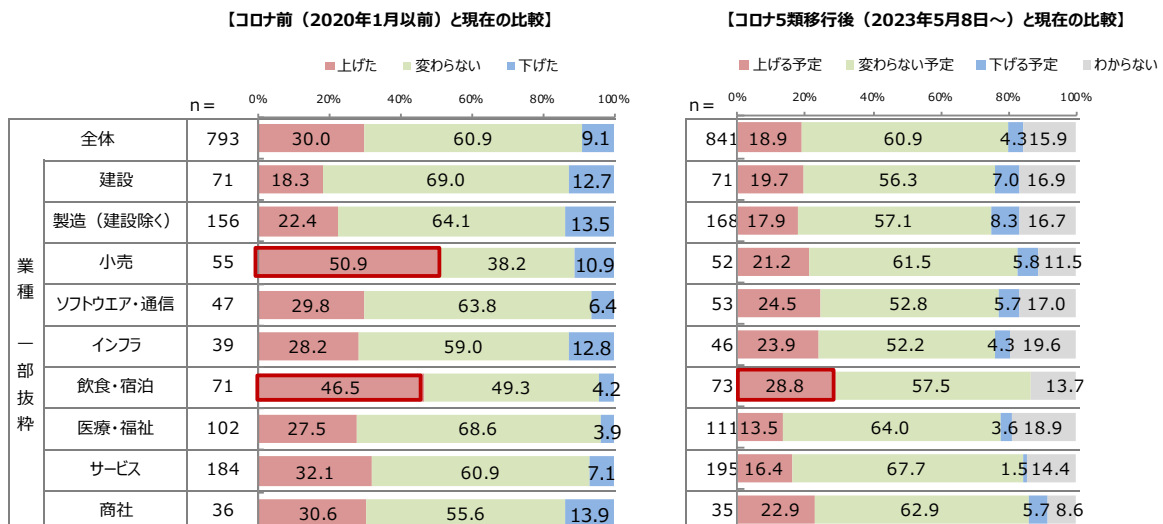
【図4】 <非正規雇用全体> コロナ5類移行後に就業意欲や求職意欲が「増える」とした理由（自由回答）

| 男性 | | | |
|--------------------------------|-----|-----------------------------------|-----|
| 感染時の扱いが軽くなり、動きやすくなると思うから | 40代 | 経済が活発になるとし、給料が上がりそうな期待感がある | 40代 |
| 遊べる時間が増えて、お金がもっと欲しいと思ったから | 10代 | 規制緩和で脱マスク、ワクチン接種も任意が明確になり活動しやすいから | 30代 |
| 活動制限も緩和され、より幅広い働き方ができると思ったから | 30代 | 働けるジャンルが増えそうだから | 20代 |
| 女性 | | | |
| 感染しても長い間 休まなくてよいか | 40代 | コロナの不安が減りオフィスワーク以外も関心が出てくる可能性がある | 20代 |
| リモートとか気にせず仕事探しが出来そうだから | 30代 | 家族が感染した時の外出制限がなければ動きやすくなると思うので | 30代 |
| 面接などが実施しやすくなり、選考が進む可能性があると思うから | 40代 | コロナで休む負目が減り、あまり怖がる必要もないと思えるようになった | 30代 |

【図5】 <非正規雇用全体> コロナ5類移行後の非正規社員数の増減予定（単一回答）



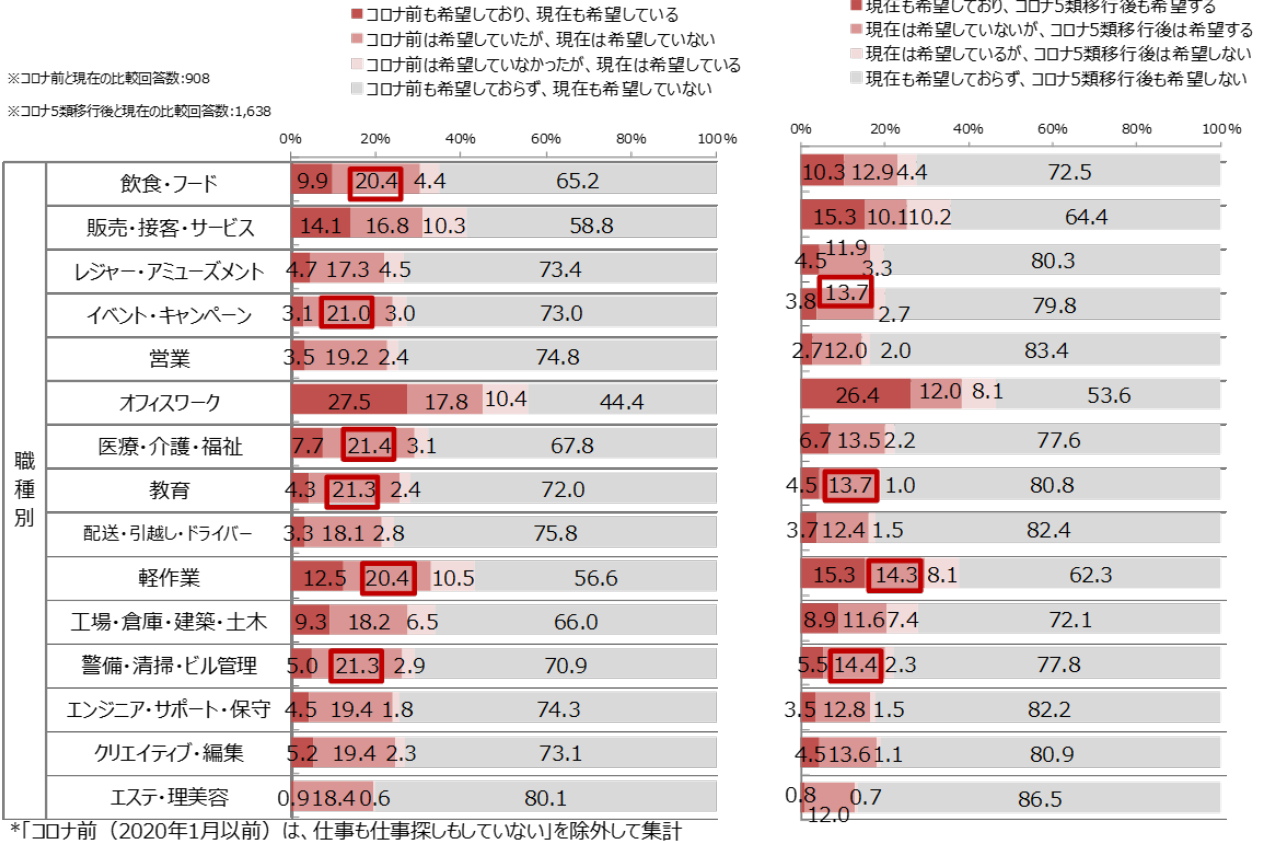
【図6】 <非正規雇用全体> 新型コロナウイルスの影響による非正規社員の時給の増減（単一回答）



【図 7】 <非正規雇用全体> 新型コロナウイルスの影響による希望職種の変化（単一回答）

【コロナ前（2020年1月以前）と現在の比較】

【コロナ5類移行後（2023年5月8日～）と現在の比較】



【調査概要】「非正規雇用市場における採用・求職動向レポート（23年1-2月）」

- 調査期間／
 企業：2023年3月1日（水）～3月2日（木） 個人：2023年3月1日（水）～3月6日（月）
- 調査方法／WEB上のアンケートフォームより入力
- 調査対象／
 <企業>
 スクリーニング調査：従業員数10名以上の企業に所属している全国の経営者・役員または会社員で、自社の採用方針を把握している人
 本調査対象：上記のうち、自社の非正規雇用労働者の採用方針について把握しており、直近2カ月以内に採用活動を行った又は新規採用を行った人
 <個人>
 スクリーニング調査：全国の15-69歳の男女（中学生を除く）
 本調査：全国の15-69歳の男女（中学生を除く）のうち、直近2カ月以内に非正規雇用の仕事探しをした人
- 調査機関／自社調べ
- 有効回答数／
 企業…スクリーニング調査：16,000名 本調査：885名
 個人…スクリーニング調査：16,399名 本調査：1,638名

※調査結果の詳細は会社HPのニュースリリース (<https://www.mynavi.jp/news/>) からご確認いただけます

【本件に関するお問い合わせ先】
 株式会社マイナビ
 キャリアリサーチラボ研究員 三輪
 Email：myrm@mynavi.jp

【当社に関するお問い合わせ先】
 株式会社マイナビ
 社長室 広報部 森
 Email：koho@mynavi.jp